小樽市立長橋小学校だより
ながはし
令和7年12月22日発行　No. 10
【目指す学校】
一人一人の子どもを主語にする学校
＜学校教育目標＞　かしこく　なかよく　たくましく
長橋小 HP

「自分を大切に思う心、同じくらい人を大切に思う心」

校長　及川　年彦

12月10日は「人権擁護ディ」です。世界人権宣言が採択された日として、全ての人が互いの尊厳を大切にし、差別や偏見のない社会を築いていくことを改めて考える機会となっています。

本校でも12月3日（水）5・6年生を対象に、小樽市人権擁護委員会より3名の講師をお招きして「人権教室」（1・2年生は9月末に実施、3・4年生は1月22日に実施予定）を行いました。授業では、互いの違いを認め合い、安心して自分らしく過ごせる環境をつくることの大切さを、「いじめ」という具体的な事例を通して自分事として考えることができました。子どもたちが真剣に耳を傾け、意見を交わす姿は、人権を尊重する心そのものでした。

6年生の人権教室の様子

「人権」とは、「全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても身近で大切なもの、違いを認め合う心によって守られるものです。

これからも、全ての子どもたちが学校で、社会で安心して生活していけるように**「自分を大切に思う心、同じくらい人を大切に思う心」**を育んでいきたいと思います。

さて、もうすぐ冬休みです。今年度より評価システムの改善（通知表2期制）導入のため2学期の通知表の配布はありませんが、先週の個人面談で担任からお伝えした内容やお渡しした個人の成績表などをもとに、お子さんと一緒に1年間の自分の成長を振り返るとともに、新たな目標を決めたり、決意を新たにしたりしてほしいと思います。また、安全に気を付けながら、家族や地域の方々と過ごす時間も大切にしてほしいと思います。雪の季節ならではの楽しみもありますが、交通や健康への注意も忘れずに過ごしてほしいと願っています。来年1月16日（金）の3学期始業式、みんな元気な笑顔で登校してくれることを職員一同楽しみにしています。

保護者・地域の皆様には、日頃より子どもたちの成長を温かく見守り、支えていただき、心より感謝申し上げます。学校と家庭、地域が力を合わせることで、子どもたちの未来はより豊かに広がっていきます。新しい年、新しい学期も引き続き長橋小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

◆赤い羽根共同募金のお礼◆

11月末に長橋小学校児童会で行った「赤い羽根共同募金」では、児童の皆さんだけではなく保護者・地域の皆様にもご協力いただきました。

皆様のご協力のおかげで、**12，101円**もの募金が集まりました。本当にありがとうございました。

「CS 防災教室」がありました。

11 月 28 日（金）に「CS 防災教室」がありました。３時間目、子どもに予告なしのシェイクアウト訓練を行った後、今回も小樽市災害対策室から〇〇〇〇様を講師に迎え、「クイズを交えた防災の心得の確認」「非常食（乾パン）の試食」「学校にある防災備品の紹介」などをしていただきました。多くの地域・保護者の方にもご参加いただき、**『災害に対する備え』**と**『自分の身は自分で守ること』**の大切さについて、改めてみんなで確認することができました。

それから 10 日後の 12 月８日 23 時 15 分頃、青森県東方沖でマグニチュード 7.5 の地震が発生し、最大震度６強を観測しました。この地震に伴い、北海道から東北地方で強い揺れが観測され、津波警報・注意報が発令されました。また、気象庁は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表し、後発地震の発生可能性について注意を呼びかけました（すでに「後発地震注意情報」の期間は終了しました）。本市でも震度３の揺れを感じたところです。その後、ある保護者の方に伺ったのですが、お子さんが大きな揺れを感じ、とっさにお家の机の下に隠れたそうです。日々の訓練はもちろん、災害の時も**『自ら考え、選択して行動できる力』**がとても大切だと実感したお話でした。

桜陽高校生による「インターンシップ」がありました。

北海道教育委員会では、高校生が教員の職務や学校教育の内容について理解を深め、子どもと触れ合う楽しさや教職の魅力を実感することができるよう、小・中学校等においてインターンシップを実施しています。本校でもその一環として、12 月９日（火）に小樽桜陽高校から高校２年生の〇〇〇〇さんが来校し、インターシップに取り組みました。この日は４年１組の学級を中心に、他の学級の授業を参観したり、授業のお手伝い（補助）をしたりしました。休み時間には子どもと一緒に遊んだり、放課後には本校の若手教員と座談会を行って、意見交換をしたりもしました。〇〇さんからは「とても良い経験になりました。特に、たった１日しかいない私に４年生の子どもが手紙をくれたことが何よりうれしかった（自分の関わりが子どもの心に残ってくれたんだなあと思えたことがうれしかった）。ぜひ、先生になりたいと思いました。」とありました。将来の夢をぜひ実現し、立派な先生になってほしいと思います。

小中一貫「乗り入れ授業」がありました。

小樽市では、小中９年間を見通した系統的な学びを行うことで、子どもたちに必要な学力・体力の向上、豊かな心の育成、地域に貢献する力などを育成するため、令和元年度より小中一貫教育を推進しています。12 月 10 日、その取組の一環として、長橋中学校から英語科教諭の〇〇〇〇先生が来校し、ALT の〇〇〇〇先生と一緒に６年生と外国語の授業を行いました。授業中は殆ど全ての指示を英語で行い、中学校で学ぶ教科の名前を全て英語で標記し、それを使ったビンゴに熱心に取り組む６年生の姿がありました。最後に〇〇先生から、「中学校では、読む、聞く、話す活動に加えて、書く活動が増えます。今日はそれを意識して授業をしました。」とのお話があり、６年生は中学校に向けて見通しを持つことができました。